



土壤総合診断票 (畑地土壤用)

作成日: 9999年 9月 9日

〒080-2464 帯広市西24条北1丁目1-7
 十勝農業協同組合連合会
 農産化学研究所 Tel.0155-37-4326

◎サンプル情報

分析No.	受付日	農協名	請求者名	農家名
9999-1	9999年9月9日	1055十勝農協連分析係	1055 十勝農協連分析係	999 十勝農協連分析係
圃場番号	圃場面積	採取年月日	土壤の種類	備考
9-999	9.0 ha	9999年 9月 9日	10 褐色火山性土	

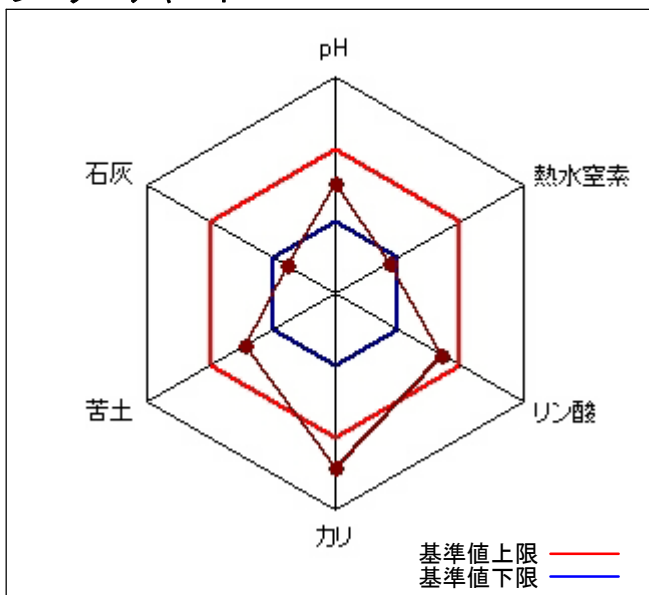
(1) 圃場来歴 (前年)

前作	有機物施用	緑肥
秋播小麦	完熟堆肥 1.0t	野生種エンバク

(2) 化学性分析結果

	分析項目	前回分析値 分析No. 9998-1	本年分析値	単位	基準値	養分状態				
						低い	やや低い	基準値	やや高い	高い
一般項目	pH (H ₂ O)	5.6	5.8		5.5~6.0			★		
	有効態リン酸	31.2	24.3	mg/100g	10~30			★		
	交換性カリ	37.2	38.3	mg/100g	15~30				★	
	交換性苦土	28.4	33.7	mg/100g	25~45			★		
	交換性石灰	201.5	223.4	mg/100g	287~431		★			
	苦土・カリ比	1.8	2.1	当量比	2以上			★		
	石灰・苦土比	5.1	4.8	当量比	6以下			★		
	石灰飽和度	28.9	31.1	%	40~60		★			
	塩基飽和度	37.7	40.8	%	60~80		★			
	微量元素	可溶性銅	0.35	0.42	ppm	0.5~8		★		
可溶性亜鉛		2.98	3.19	ppm	2~40			★		
易還元性マンガン		65.20	54.50	ppm	50~500			★		
熱水可溶性ホウ素		0.72	0.85	ppm	0.5~1			★		
窒素	熱水抽出性窒素	3.51	4.28	mg/100g	5~7		★			
	全窒素	0.21	0.25	%						
	硝酸態窒素	0.61	0.61	mg/100g						
	アンモニア態窒素	1.07	1.07	mg/100g						
土壌性質	リン酸吸収係数	1402	1360							
	CEC	24.9	25.6	me/100g						
	仮比重	0.80	0.80							
	土性	壤土	壤土							
その他	腐植含量 (判定)	富む	富む							
	腐植含量	6.2	7.4	%						
	EC	0.48	0.56	mS/cm						
	置換酸度	0.52	0.52							

レーダーチャート



凡例 基準値より低い 基準値より高い

(3) 土壤改良資材必要量 (作土20cm当り全層) 単位: kg/10a

石灰資材	pH5.5	pH5.7	pH6.0
炭カル			125
最適作物	馬鈴しょ	豆・麦類	てん菜

(4) 施肥設計結果

作付予定作物 520000 てん菜移植

単位: kg/10a

項目	施肥の目安量				配合肥料主体		化成肥料主体			
	N	P	K	Mg	肥料名	施用量	肥料名	施用量		
分析値からの設計	16.0	25.0	9.6	4.0	BBS247	90				
有機物による減肥	-1.0	-1.0	-4.0		チリ硝石	25				
最終施肥設計	15.0	24.0	5.6	4.0	N P K Mg 14.8 21.6 6.3 2.7	11,918 円	N P K Mg			円

※この設計はあくまで目安です。農協・普及センターの助言のもとに施肥設計して下さい。

◎サンプル情報

分析No.	受付日	農協名	請求者名	農家名
9999-1	9999年9月9日	1055十勝農協連分析係	1055 十勝農協連分析係	999 十勝農協連分析係
圃場番号	圃場面積	採取年月日	土壌の種類	備考
9-999	9.0 ha	9999年 9月 9日	10 褐色火山性土	

(5) 物理性診断結果

採土管による分析				基準値
三相分布	気相率	40.4	%	—
	液相率	23.7	%	—
	固相率	35.9	%	火山性土 25~30 沖積土 40以下
重力水孔隙率 (pf1.5孔隙率)		40.4	%	15~25
易有効水分孔隙率 (pf3.0孔隙率)		9.4	%	10以上
容積重		0.8	g/cm ³	火山性土 0.7~0.9 沖積土 0.9~1.1
飽和透水係数		2.50×10^{-4}	cm/秒	$10^{-3} \sim 10^{-4}$

粒径組成 (国際法)		
粗砂	21.20	%
細砂	23.50	%
シルト	29.80	%
粘土	25.50	%

(6) 生物性診断結果

微生物活性			基準値
α -グルコシターゼ活性	458	pmol/g/分	火山性土 550~750 沖積土 350以上
病害検診			
パーティシリウム	1.2	個/乾土1g中	
馬鈴しょそうか病	3.0×10^4	個/乾土1g中	
センチュウ検診			
キタネグサレセンチュウ	10	頭/原土25g中	
キタネコブセンチュウ	0	頭/原土25g中	

(7) 総合評価

加里が過剰ですので、加里を減肥するか堆厩肥の過剰施用に注意して下さい。
 石灰飽和度が低いので石灰欠乏に注意して下さい。
 銅が少ないので、小麦作付け時には銅入り肥料を使用しましょう。成熟期が早い地域では硫酸銅資材の葉面散布によって増収が見込まれます。
 ダイコンパーティシリウム黒点病が若干発生する可能性があります。抵抗性品種を作付けしましょう。
 ネグサレセンチュウの密度から、ごぼう・にんじん・だいこんの品質が低下する可能性があります。
 そうか病発生いも率31~55%と多発する恐れがあります。馬鈴しょの作付け時に抵抗性品種を作付けするか、そうか病の再検診をお勧めします。

※この総合評価はあくまで参考です。農協・普及センターの助言のもとに土壌改良して下さい。